

Move Mountains

5年生通信

5月27日30号



○書くこと～論理的に書く～

書くスキルの時間の大きな目標は「論理的な文章を書く」ことです。文章にして伝えることは、巡り巡って話すことにも繋がります。

会話は瞬発的なやり取りであり、その場の思いつきです。「思いつき」のレベルを上げるために、一度立ち止まり、自分の中で何度も反芻^{はんすう}する経験が必要です。

今回選のテーマは『「田舎に住むのがいい」という人と、「都会に住むのがいい」という人がいます。あなたはどちらの立場ですか。』

あえて、生活経験から少し離れたテーマにしました。というのも4月に「春」をテーマにしたところ「花粉だから嫌だ」のように、感情が先行し過ぎてしまい、論理的から離れてしまいました。

客観的に考えられるような内容の方が、論理的に書くことに近づけると考えます。主張はどちらでもいいのですが、読んだ相手を納得させることが目標です。

良い文章を書くためには「形」を知ることが重要です。

今年の3月に出たばかりの『文章は「形」から読む』。個人的には、2024年の新書では今のところベストです。

契約書のような料理本はありません。

詩のようにすぐに改行する法律の文はありません。

小説のような国語辞典はありません。

文章には、それにあつた「形」があるわけで、第一歩はそれを真似することです。

そこで、①主張②根拠③予想される反論④それに対する反論⑤まとめの文例を用い、まずはこの形で書くことにしました。

みなさんの作文を見てみましょう。



①僕は都会か田舎かと言われたら、田舎を選ぶ。

②何故なら、田舎は、自然が綺麗で空気も綺麗だ。

どうせなら空気は綺麗な方がいいだろう。

しかも、田舎の方には自然公園などがたくさんあって外で遊ぶのが楽しくなる。

公園は広いと鬼ごっこやかくれんぼなど遊びの幅が広がるだろう。

ちなみに、僕の家では、キジやカラス、ツバメやスズメなどの鳥がよくきて鳴いている。

③しかし、コンビニやスーパーなどが近くて便利な都会の方がいいともう人もいるかもしれない。

④だが田舎にも、コンビニやスーパーなどはあるし、都会だと自然公園は少ないだろう。

⑤これらの理由などを持って、僕は田舎か都会かだと田舎を選ぶ。

①僕は、都会の方がいいとおもいます。理由はメリットは3つ、デメリットは2つあります。

②なぜなら、田舎はあんまり豪華なものや派手なイベントみたいなやつは少ないけど、都会は活発にそういうイベントがたくさんあるから楽しいと思います。

しかも都会の方が技術がとても発達している気がして、やりたいことがあるのに田舎にはないことがあるからです。例えばユニバーサルスタジオジャパン(大阪)に行きたいけど自分のところになくて悲しい思いがあります(僕も)。なので都会の方がいいと思います。しかも田舎はあんまりインターネットが悪いけど都会はインターネットがいいから普段からパソコンや、スマホを使っている人にとっては最高だと思います。

③しかし都会には、デメリットもあります。夜が怖い、空気が汚い、他人が怖い(怖いと同じ)とかがありますが、僕はそうは思いません。

④前に夜に大阪に行ったことがあるけど、大阪はいいひとばかりで空気もそうそう汚くないし、しかも楽しかったからです。なので都会の方がいいと思います。

⑤まとめると、都会はいろいろ便利なことがあって楽しいし楽しい人々や楽しい遊園地とかが側近にあるので、都会は田舎よりいいと思います。

- ①私は、都会がとても便利で、たくさんの人と交流できると思いました。
- ②その理由は、交通機関がたくさん通っていて田舎よりも少ない費用でいろんなところへ行く選択肢が広がるし、そして都心部は経済力がはたつしているので、人が集まるはずだと思ったからです。
- 「都会に住みたい理由ランキング」によると、
1位になったのは「買い物に困らない(53人)」です。2位「交通アクセスが良い(51人)」、3位「何をすることも便利(35人)」、4位「遊ぶ場所やイベントが多い(16人)」と続きます。
- 買い物や交通アクセスなど、生活する上での便利さを挙げた人が多数なので田舎よりも都会の方が、老若男女全員が住みやすいところだと思います。
- 2023/05/12
- ③都会には、自然がないから田舎に住む方がいいと思う人もいますが、
④都会に住んでいると公共交通機関がたくさん通っているので自然のあるところに行けます。そして、何時間もバスや電車が来るのを待つより5分か10分でバスや電車が来る方がいいですね？
- ⑤なので、わたしは便利さが大切だと思います。
- 田舎より都会の方が、みんなが困ることなく生活できます。なのでわたしは、便利なのが一番だと思います。

最初に紹介した子のように、常体（～だ。～である。）の方が、意見文としては文章にしまりがありますね。

次の子は、自分の経験を根拠として論を展開しています。教科書の文例もこのようになっていました。

最後の子は、数字で表すことができる明確なデータを引用することで強い説得力をもたせていますね。

以前も書きましたが、文章上達のコツは、人に見られること！そして「汗かけ恥かけ文を書け」とにかく書くことです。

☆お便りフォームはこちら☆

<https://forms.gle/ndGkDHTYcmB1bWyU9>

